

すぐに取り組める  
**家庭学習のすすめ**  
ヒント集



家庭学習の大切さが改めて注目されています。  
発達段階に応じた**家庭での支援のあり方や、家庭学習を習慣化するための3つのポイント、ヒント集**をリーフレットにしました。  
お子さんの様子を見ながら家庭学習をすすめてみませんか？

## 高学年(5・6年生)



自主性を伸ばす時期です。見守り、励まし、任せるべきことは任せましょう。



### 家庭での支援のあり方

#### (1) はじめに

この時期の子どもは、少しずつ自我が目覚め、周囲に対して自分の考えを主張するようになってきます。

その一方で、社会性が広がり、感受性が深まり始めるのもこの時期で、友達の言動や大人の対応には敏感で、特に自分が納得できないことや不平等な扱いに対しては反発したり、傷ついたりすることがよくあります。

親として、家族として、

- ・ お子さんの思いや考えを真剣に受けとめてやること
- ・ 他の子との比較ではなく、お子さんなりのがんばりを認めてやること
- ・ 「やればできる」と、ねばり強く励ましてやること



などが大切です。心の成長や深まりが見え始めるこの時期だからこそ、家族の温かな見守りが必要です。

#### (2) やる気を引き出す保護者のサポート

- ・ 子どもの自尊感情を大切にするとともに、**がんばりを認め**、できたことを**ほめ**ましょう。
- ・ 子どもの考えやさまざまな疑問に真剣に**向き合**いましょう。自分でできることは、挑戦・解決させ、その過程を**見守**りましょう。

#### (3) 望ましい学習習慣を身に付けるために

- ① 学習する時間帯を決める。
- ② 学習する場の整理整頓を徹底する。
- ③ 今日やるべき課題を確認する。
- ④ 学習時は、テレビなどを消す。



# 「家庭学習」を習慣付けるための3つのポイント



千葉県PRマスコットキャラクター

チーパくん

## ポイント1 時間を大切にすることを意識を育てましょう

- 時間を大切にすることで、計画性が養われます。

「今日、家に帰ったら、まず国語と算数の宿題をやろう。終わったら、〇〇くんと遊んで...」



やりたい“こと”・やるべき“こと”・やらなければならない“こと”等が、たくさんあって、子どもは子どもなりに毎日「いそがしい」のです。

でも、自分の時間をどう使ったらよいのかわからず、やりたい“こと”が優先され、やるべき“こと”等が後回しになったり、時間を無駄に過ごしたりしてしまいがちです。

高学年といえども、子どもが小学生のうち、時間の使い方を本人まかせにせず自主性を尊重しつつも、親がある程度管理してやる必要があります。

## ポイント2 認めて・ほめて・励まして、やる気を育てましょう

- 子どもとのコミュニケーションの中に、やる気を引き出すチャンスがたくさんあります。

「おかあさん教えて」、「おとうさんと一緒に考えよう」など、親子でともに学ぶ経験は、子どもたちの励みになります。学習に対する意欲は、「できた!」「わかった!」という子どもの達成感と、「すごいね」「よくできたね」というほめ言葉や認め言葉によって高まります。

しかられてやる気になることは少ないと思います。やはり、子どもの気持ちに寄りそって、「認めて・ほめて・励まして」やることがやる気を育てることにつながります。



## ポイント3 読書や体験をとおして、子どもの学びを深めましょう

- 「読書好き」は「学び上手」につながります。

学力を高める上で、即効性がないかのように見える「読書」。しかし、「読書」によって「考える」習慣を身に付けておかないと、土台のないところに家を建てるのと同じで、学力は向上しません。



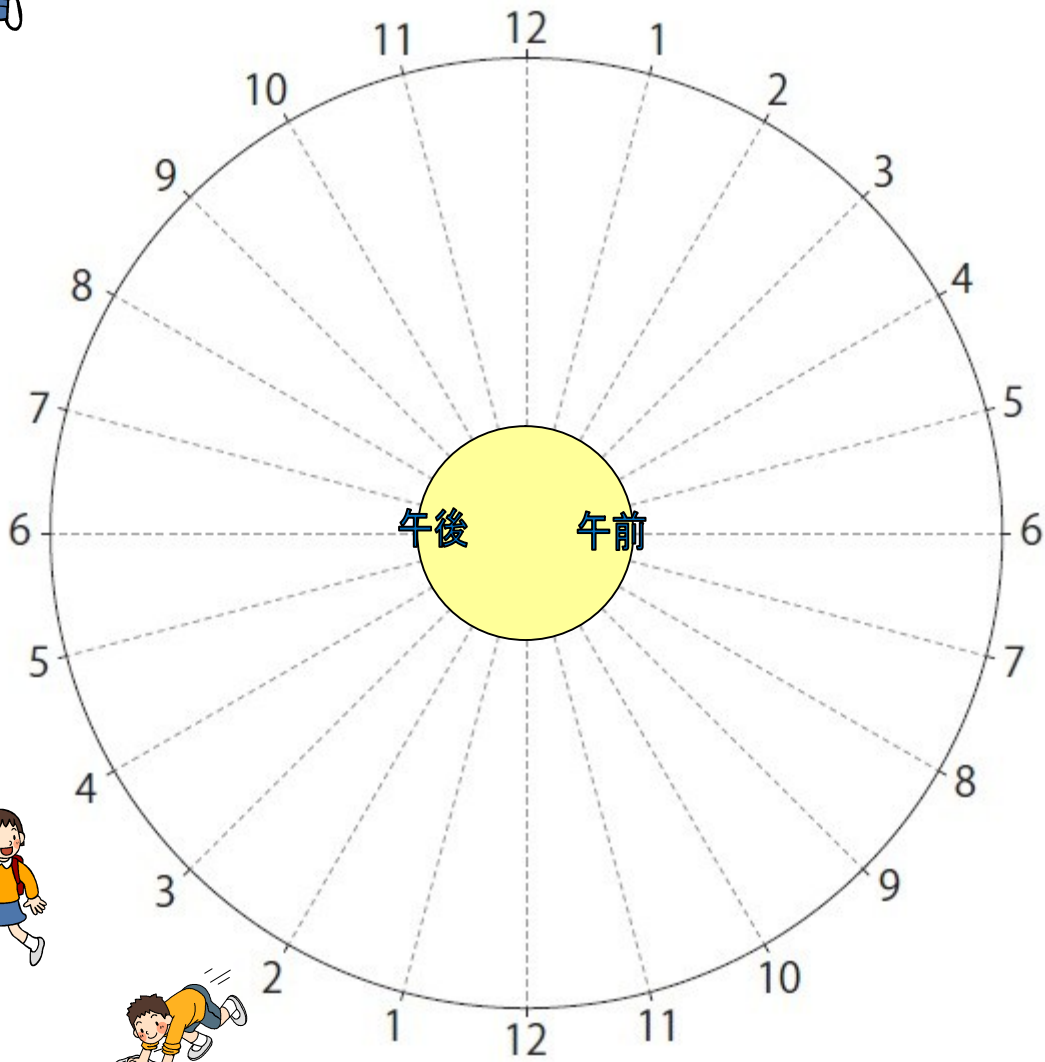
- 体験は心をたがやし、豊かな感性を育みます。



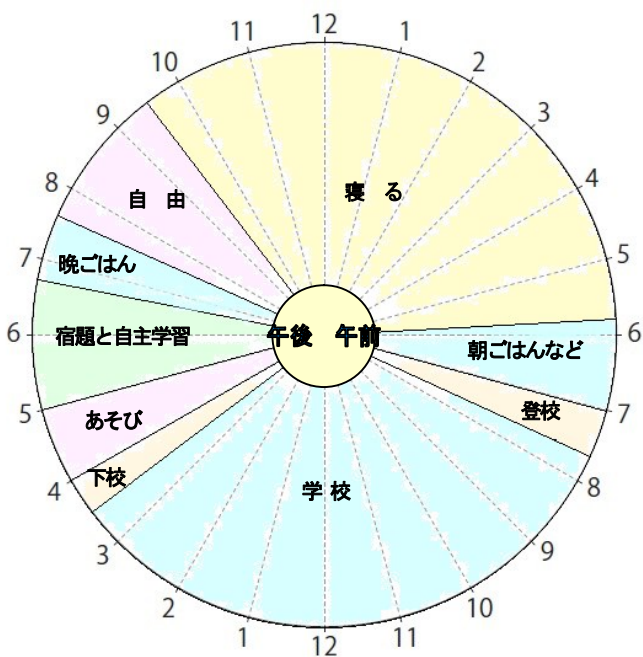
体験は人を磨きます。体験することで得られる感動や喜びは、子どもたちを「次なる興味」へと導いていきます。感性が鋭いこの時期にこそ「見て・ふれて・確かめる」体験を積むことは、とても大切なことです。



# 1日の計画を立ててみよう



例えば・・・



土曜日・日曜日などの休日の分も作ってみましょう。

宿題とは別に、自分の得意分野を伸ばしたり苦手分野を克服するための学習計画を立てて実行しましょう。



## 家庭学習を習慣化させるためのヒント集

家庭学習の習慣化には、時間がかかります。

おうちの方からすると、「昨日はしっかりできたのに今日はやる気が感じられない...」とか「**何度も注意しているのに鉛筆すら持たない...**」など、お子さんの行動にイライラしてしまうこともあるのではないのでしょうか。

では、どうすれば望ましい学習習慣が身に付けられるのでしょうか。

ここでは、家庭学習の習慣化を図るヒントを掲載しています。

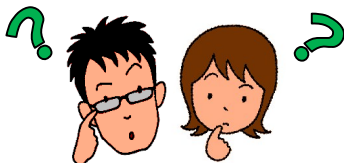


お子さんの様子を見て、思い当たるところはありますか？

落ち込んだり、イライラして親に反発したりすることがありませんか？

夜遅くまで起きていることが多くありませんか？

家にいるとき、だらだらと過ごしていませんか？



学校の勉強についていけそうですか？

### ヒント1 落ち込んだり、イライラしたり、最近の言動がちょっと気になる シンヤ 君



思春期を迎えた子どもは、ささいな事で自信をつけたり、深く傷ついたりすることがよくあります。また、集団生活の中で、自分の思いどおりにならない事もしばしば起こり、勉強やスポーツ、友人関係など様々な場面で挫折や妥協をくり返します。

どうにもならない気持ちのはけ口を家族に向けたり、親が話しかけても返答しなかったりすることもあるでしょう。相手の気持ちを敏感に察知するアンテナの感度が高くなるのもこのころからです。親として今まで以上に繊細な気配りが必要になります。

子どもへの対応に苦慮することもあるかもしれませんが、これは**自立への第一歩**と受けとめ、小さながんばりや変化を見逃さず、『**自分のことを見てくれたんだ**』と、子どもが実感できるようなほめ言葉や励まし、アドバイスなどを送ってやってください。

家族の温かい見守りの中で、子どもの心は安定し、学習への意欲が向上していきます。



### ヒント2 いつも夜ふかし、朝は自分で起きず、ぎりぎりまで寝ている ユウコ さん

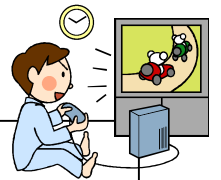


子どもの睡眠時間は、8～9時間は必要です。夜遅くまで起きていて睡眠時間が十分にとれないと、成長ホルモンの分泌を妨げたり、集中力を低下させ、本来、力を発揮すべき学校生活にも影響を与えます。そうした生活リズムの乱れが当たり前となり、中学校生活までズルズルと続いてしまうケースも少なくありません。

**学習意欲を生む原点は、規則正しい生活習慣**にあります。時間の使い方について適切なアドバイスをするなどして、お子さんの早寝・早起きの習慣づくりをサポートしましょう。



### ヒント3 自分の部屋にこもりがちで、だらだら過ごしてばかりの タケシ くん



**家族の一員**として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりできる場を意識してつくりましょう。

また、図書館・博物館・美術館などに一緒に出かけて親子でイベントに参加したり、近所を散歩したり、スーパーなどで一緒に買い物をしたりするのもいいでしょう。

外出したり、実際に体験したりすることで、生きた情報が飛び込んできます。そして、**親子で共通の体験**をすることによって、**対話の機会**も生まれます。普段なかなか引き出せないお子さんの本音が聞けるかもしれません。



### ヒント4 学校の授業についていけないのか不安な ミチコ さん



学校の授業がだんだん難しくなって、テストなどで満足できる得点がとれなかったりすると、だれしも不安がつのります。自信をなくしているお子さんに、「なぜ、こんなこともできないの？」は、もちろん逆効果です。

お子さんは、『**わかるようになりたい**』『**できるようになりたい**』と必死なのです。その気持ちに寄りそってください。

勉強は、一段一段積み上げていくものであり、『わからないこと』を学習するものなのです。**わからないことは決して恥ずかしいことではありません**。高学年の小数や分数の計算でつまづいているのなら、中学年の「小数の意味」や「分数の意味」にも**どってやり直せばよい**のです。まだまだ十分やり直しがききます。

基礎を学び直すことで、ミスも減ります。わかったような気になっていたり、わかったフリをしていたりすることはいいことではありません。

子どもが「これよくわからない。」と訴えてきたときがチャンスです。子どもと対話するいいチャンスです。真剣に向き合しましょう。加えて、「すごいね！やればできるじゃない。」という励ましや「これ難しいね。いっしょに考えよう。」という寄りそう姿勢が、子どものやる気をより大きく強いものにしていきます。



教育委員会では、ホームページ「**家庭学習のすすめ**」**サイト**を通じて、お子さんといっしょに取り組める家庭学習の素材（各教科）を配信しています。ぜひ、利用してみてください。

#### 「家庭学習のすすめ」サイト

☞ <http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/2011/kateigakus.html>

また、子育て支援サイト「**親力アップいきいき子育て広場**」も参考にしてください。

☞ [http://www.kplaza.pref.chiba.lg.jp/emanabi\\_pc/](http://www.kplaza.pref.chiba.lg.jp/emanabi_pc/)

当リーフレットに関するお問い合わせは 指導課学力向上室（043-223-4056）